

Governor's Monthly Letter

07
2014

国際ロータリー第2560地区 2014-2015年度「ガバナー月信」



2014-2015

Rotary International District 2560

ガバナー補佐挨拶

第1分区 篠沢正(豊栄)／第2分区 藤田普(新潟南)
第3分区 木村晃(村松)／第4分区 菊池涉(三条)
第5分区 南雲博文(長岡)／第6分区 村山栄治(十日町)
第7分区 大谷光夫(高田)

委員長挨拶

吉田武彦(小千谷)／高橋悟(雪国魚沼)／村山徹(十日町)
青木省一(長岡西)／高坂光一(高田)／笠原廣(長岡)
高橋清文(新潟)／木戸信輔(加茂)／横山亘(高田東)
安藤幸夫(新潟東)／渡辺敏彦(新潟南)

佐々木ガバナー年度スタートにあたり
目崎幸則地区幹事／今井財務委員長

佐々木昌敏ガバナー就任のご挨拶
ガバナー就任にあたって

山崎堅輔パストガバナー
お祝いの言葉



国際ロータリー第2560地区
ガバナー 佐々木 昌敏

目次

1. 目次
2. ガバナーメッセージ 佐々木昌敏
3. 地区目標 他
4. 佐々木ガバナー年度のスタートを祝して 山崎 堅輔 (中条 RC)
5. 佐々木年度のスタートにあたり 地区幹事 目崎 幸則 (小千谷 RC)
6. 佐々木年度スタートにあたり 地区財務委員 今井 芳夫 (小千谷 RC)
7. ガバナー補佐あいさつ
 - 第 1 分区 ガバナー補佐 篠沢 正 (豊栄 RC)
 - 第 2 分区 ガバナー補佐 藤田 普 (新潟南 RC)
 - 第 3 分区 ガバナー補佐 木村 晃 (村松 RC)
8. 第 4 分区 ガバナー補佐 菊池 渉 (三条 RC)
 - 第 5 分区 ガバナー補佐 南雲 博文 (長岡 RC)
 - 第 6 分区 ガバナー補佐 村山 栄治 (十日町 RC)
9. 第 7 分区 ガバナー補佐 大谷 光夫 (高田 RC)
10. 委員長あいさつ クラブ奉仕委員会 委員長 吉田 武彦 (小千谷 RC)
11. 委員長あいさつ 職業奉仕委員会 委員長 高橋 悟 (雪国魚沼 RC)
12. 委員長あいさつ 社会奉仕委員会 委員長 村山 徹 (十日町 RC)
13. 委員長あいさつ 国際奉仕委員会 委員長 青木 省一 (長岡西 RC)
14. 委員長あいさつ 青少年奉仕委員会 委員長 高坂 光一 (高田 RC)
15. 委員長あいさつ インターアクト委員会 委員長 笠原 廣 (長岡 RC)
16. 委員長あいさつ ローターアクト委員会 委員長 高橋 清文 (新潟 RC)
17. 委員長あいさつ ライラ委員会 委員長 木戸 信輔 (加茂 RC)
18. 委員長あいさつ 青少年交換委員会 委員長 横山 亘 (高田東 RC)
19. 委員長あいさつ 米山記念奨学金 委員長 安藤 幸夫 (新潟東 RC)
20. 委員長あいさつ ローター財団委員会 委員長・パストガバナー 渡辺 敏彦 (新潟南 RC)
21. 地区ロータリー財団の寄付金について
22. ローター地域協働ネットワークセンター活動方針 センター長 鈴木 重彦 (長岡 RC)
23. 2014~2015 ローター地域協働ネットワーク緊急連絡網
24. 第 19 回全日本青少年交換研究会福島会議に出席して 青少年交換委員長 倉茂 章
25. 会員増強セミナー クラブ奉仕委員長 吉田武彦
26. 2014-15年度 地区主要行事予定 (佐々木年度)
27. 2014-15年度 佐々木ガバナー公式訪問日程表 (案)
28. ハイライトよねやま 171-1
29. 171-2
30. 2013-2014 年度 5月末会員数および出席報告
31. 文庫通信 322号



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度
ガバナー 佐々木 昌敏

はじめに

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度ガバナーに就任いたしましたので、ごあいさつを申し上げます。

ガバナーノミニ、ガバナーエレクトの準備期間を経て、いよいよガバナーとして新年度を迎えることとなりました。

これまで、山崎直前ガバナーをはじめ、パストガバナーの皆様、さらに地区役員の皆さまに温かいご指導、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

これから一年間「ロータリーを楽しく」「地区の活性化」を目指して、微力ながら鋭意努力したいと念じております。どうぞよろしくごお願い申し上げます。



基本姿勢

ゲイリー・C・K・ホアン R I 会長方針

「ロータリーに輝きを」

Light up Rotary

1. 奉仕を实践し、クラブを活性化、強化して、ロータリーの存在感を高める。
2. 会員増強に注力して、会員数 130 万人を目指す。
3. ロータリーデーを開催して、ロータリーを知ってもらう。
4. ポリオを撲滅する。

「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができる。

佐々木年度

<地区方針>

1. 「ロータリーはあなた自身から」 — You are the key —
楽しいロータリーは「あなた自身から」です。あなた自身が、その鍵を握っているのです。
2. 他者が何をしてくれるかではなく、自分が他者に何をできるか考えよう。

<活動規範>

1. 好んで議論するよりも、すすんで行動しよう。
2. やらない理由を捜すよりも、どうすればできるのかチャレンジしよう。
3. 勇気をもって、第一歩を踏み出しましょう。 Take Action

＜地区目標＞（RC戦略計画を支援して）

1. 会員基盤の拡充
 - (1) 会員純増 10%UP
 - (2) 若い会員、女性会員の入会推進
 - (3) 会員候補者リストの作成
 - (4) 入会 1～3 年会員用研修の実施 — 退会防止 —
2. ロータリー財団の支援
 - (1) ポリオ撲滅の支援
 - (2) グローバル補助金のチャレンジ
 - (3) 地区補助金プロジェクトの参加
3. ロータリーデーの開催
 - (1) 10月12日（日）地区行事として開催
 - (2) ロータリー地域協働ネットワークセンターと連携
 - (3) ロータリーファミリーの参加
 - (4) 新聞、テレビを活用して、公共イメージの向上
4. ロータリーの感動を語ろう
5. 国際大会の参加

2014 年 4 月 12 日（土）地区研修・協議会で基調講演をお願いしました市川先生のメッセージをご紹介します。

第 2750 地区（東京・グアム）
市川 伊三夫（東京銀座 RC）

旅のはじめは上々であった。

これから私はあの遠くに見える 美しい山に登る。

登るにつれ 眺望は開け 景色はよくなる。

しかし更に登ると 道は悪く 風は冷たい。

あきらめようと 何度もしたが 無理に無理をして とうとう山の頂上に立った。

そこには今まで見たこともない眺めがひろがる。

何という感激。

あきらめなかったから この景色が見られた。

あきらめたら 生涯この景色にはあえなかった。

人生は山登りと同じだ。

あきらめて 感激はない。

あきらめず大きな志を抱き続けてこそ 君の本当の人生がある。

生きていくということは 自分の本当の人生をさがすことだ。

生きる限り さがし続けて行くことだ



佐々木ガバナー年度のスタートを祝して

国際ロータリー第 2560 地区
2013-14 年度 ガバナー
山崎 堅輔 (中条 RC)

佐々木ガバナー年度が7月1日からいよいよスタートされることに成りました。おめでとうございます。

先のサンディエゴ国際協議会に、令夫人と共に出席され、ゲイリー・C・K ホアン国際ロータリー会長からの RI テーマ「ロータリーに輝きを」を持ち帰られました。



世界で助けを求めている人々にローソクを灯すのがロータリーです。

私一本、あなた一本、こうして120万人の全会員がローソクを灯しますと世界に光を輝かせることが出来ると。

そして地区方針を「ロータリーはあなた自身から。」と打ち出されました。

各クラブは国際ロータリーの会員です。ガバナーはクラブと RI の間に立って当該年度の活動を支援する役務を担っております。

地区内56クラブの活動内容が一層充実し、佐々木ガバナーの指導力と組織力を遺憾なく発揮され、地区内の会員一人一人、クラブ一つ一つがその目標に向かってまい進されることを願っております。

暑い最中でのクラブ公式訪問には体力も必要です。健康には充分留意されてガバナーの目的を達成されることをご祈念申し上げます。

最後に佐々木年度に対し地区内ロータリアン全ての皆様の絶大なるご協力とご支援をお願い申し上げ、お祝いの言葉と致します。



佐々木年度のスタートにあたり

国際ロータリー第 2560 地区
地区幹事
目崎 幸則(小千谷 RC)

これから佐々木年度が始まります。

「魚沼の小さなクラブからガバナーを輩出して支えきれ
のか?・・・」

その思いは当初からそして現在も脳裏にあり、ここに至
っておりますが、鈴木 PDG、山崎直前 DG、時田直前幹事を始
めとする多数の先輩諸氏からのご指導ご協力により、事務
所開設から、PETS、地区研修・協議会を終了することがで
きました。ここに関係各位に、衷心より感謝と御礼を申し
上げます。



私が小千谷 RC に入会したのは、1986 年(S 61 年)であり、会員の多数が企業の創業者であり
ました。厳格と寛容な精神を持ち、例会時にはその「人となり」に接することが何よりも自
身の励みになり、今思うに「ロータリアンの原点」を感じる時代でもありました。

2014-15 年度の RI テーマは「ロータリーに輝きを」そして地区方針は「ロータリーはあな
た自身から」であります。

ゲイリーC.K ホァン RI 会長は孔子の言葉を引用し、「まず自分の行いを正しくし、次に家庭
を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和になる。」と述べております。

この方針を知ったとき、私はある本を思い浮かべました。

10 年程前に出版された「国家の品格」・・・藤原正彦著です。

「国家の品格は国民の品格」、そして「品格とは?」・・・藤原氏は書の中で

「情緒」と「形」の国、日本。それは自然への感受性、ものの哀れみ、懐かしさ、惻隱の情
であり、論理偏重の欧米型でなく、日本型文化の復活が世界を幸福にする。とあり、その為
には、「武士道精神」の復活を説いております。

武士道はもともと「戦いの掟」であり、戦場におけるフェアプレイの精神でもある。その精
神が戦前までの日本人の行動規範、「修身教育」、道徳であり、加えて「名誉」と「恥」の文
化を持つ。そして日本人の誇りうる「情緒」に四つの愛がある。それは「家族愛」

「郷土愛」、「祖国愛」、そして「人類愛」である。

「金銭よりも道徳を尊ぶ」武士道精神が人々に尊敬され、「国を愛する」祖国愛に通ず
る。・・・私は当時、この書に感銘を受けました。

「ロータリー精神」と「武士道」、異論もあると思います。

「彼岸の世界」と「此岸の世界」、我々は行き来はできません。「迷い迷いて前に進む」しか
ないようです。最後に尊敬する山崎直前 G の「月信 1 号」の文中をもって、年初の言とい
たします。

「情けは人の為ならず、巡り巡りて己が為なり。

佐々木年度スタートにあたり

国際ロータリー第2560地区
地区財務委員
今井 芳夫（小千谷RC）

いよいよ7月からの新年度を迎え、佐々木年度がスタートいたしました。

一年前の7月から、皆様のご協力、ご支援によりPETS、地区研修・協議会を無事滞りなく終了させていただき、感謝を申し上げます。佐々木年度の財務委員を拝命いただきましたが、任務の重さを痛感しながら職責を全うしてまいりる所存でありますので、皆様のご指導を宜しくお願い致します。

佐々木年度の予算につきましては、PETSで説明させていただき、地区研修・協議会において、本年度の一般会計 39,500,000 円、特別会計 12,000,000 円の地区資金予算が承認されましたのでご報告いたします。佐々木年度では前年と概ね同様の収入、支出を見込んでおり、会員数に於いても 2,000 名で予算案を作成させていただきました。又本年度は会員増強をメインに取り組んでいく方針でありますので期待するところであります。

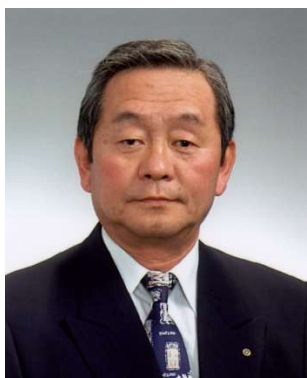
今年度より地区予算及び決算様式の見直しを行いました。より分かり易く、簡素化いたしましたのでご理解を賜りたいと思います。

地区資金会計基準を遵守し、予算の執行状況を把握しながら、皆様からいただいた資金を厳正に運用してまいりる所存でありますので、皆様のご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



ガバナー補佐あいさつ

第 1 分区ガバナー補佐 篠沢 正（豊栄 RC）



ご存じのように ガバナー補佐の役割はガバナーの方針を各クラブに浸透させ、効果あらしめることにあると考えます。4月の地区研修・協議会の会長・幹事が所属する第1セッションでのテーマは「会員増強」でしたし、5月に「会員増強セミナー」を開催しておられることからもお判りのように、今年度佐々木ガバナーの方針は「会員増強」この一点のあるように思われます。第一分区のクラブの皆さん、一年間よろしくお願い致します。

第 2 分区ガバナー補佐 藤田 普（新潟南 RC）



2 分区のガバナー補佐を承りました新潟南ロータリークラブ所属の藤田 普（ひろし）です。

本年 6 月にはいつてからの急な登板であり、まだ心の準備すらできておりません。大あわてでこれまでのロータリー経験を振り返り、「ロータリーとは何か」など思いを巡らしはじめたわけですが、何しろ浅学非才の魚屋くずれのロータリアンです。さっぱり進展しません。これから1年かけて、分区内の皆様とご一緒にしっかりと考えていきたいと思ひます。

「考えるだけではだめ！RI 細則にのっとった行動を起こさなければ」と、ご叱咤いただくことになりそうですが、よろしくお願い致します。

第 3 分区 ガバナー補佐 木村 晃（村松 RC）



佐々木年度第3分区ガバナー補佐を拝命いたしました村松ロータリークラブの木村晃と申します。

RI 会長ゲイリー C. K. ホアン氏が掲げる「ロータリーに輝きを」をテーマに佐々木ガバナーは会員増強を今年度の重点目標に挙げました。多くの仲間と地域社会を輝かせ奉仕の喜びを分かち合い、クラブの存在感を高め、地区方針である「ロータリーはあなた自身から」を実践し、ロータリーの輝きを取り戻したいと思っております。分区内の皆様にはお世話になりますが、ご協力

よろしくお願い致します。

ガバナー補佐あいさつ

第 4 分区 ガバナー補佐 菊池 渉（三条 RC）



第 4 分区のガバナー補佐を務めます。単に佐々木昌敏氏というよりもガバナー佐々木昌敏氏、あえて言えば「ガバナーの補佐」に徹します。微力ですが佐々木年度が有意義な年度になるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

第 5 分区ガバナー補佐 南雲 博文（長岡 RC）



いよいよ、ガバナー補佐がスタートしました。ペッツ、地区研修・協議会、会員増強セミナー、ガバナー補佐勉強会と参加させていただき、少しは知識や、やるべきことが見えてきたと感じております。特に佐々木ガバナーが強調されております、会員増強純増 10% については不退転の決意が伝わってきております。第五分区と致しましても、各クラブさんと協同戦線で 10% 純増を達成したいと考えております。

また、9月6日（土）に行われます、第五分区 IM を皆様のご協力によりまして盛会裡に出来ますようよろしくお願いいたします。力不足は重々承知ですが、1 年間よろしくお願いいたします。

第 6 分区ガバナー補佐 村山 栄治（十日町 RC）



3月29日、第6分区会長エレクト・幹事エレクト会議を開催し、2014-2015 年度重点テーマであります会員増強について協議し、その後、分区内クラブに挨拶回りをさせていただき、事前準備をさせていただきました。

佐々木ガバナーの活動方針と活動規範に沿って、6 分区の皆様が会員が増えて楽しいクラブになることを目指して行動していただける様活動して参りたいと存じます。宜しくお願いいたします。



第 7 分区 ガバナー補佐 大谷 光夫（高田 RC）



この度、第 7 分区ガバナー補佐を拝命いたしました。今はあまり使われていませんが「ロータリーに NO はない」と入会からの信条でやってまいりました。

佐々木ガバナーは方針の中で「会員増強純増 10%アップ」が最重要であると言われ、ガバナー補佐はこのことに対し計画を練り、分区内各 RC とともに目標達成に向けた活動をするように強く希望されております。

経済状況はいまひとつですが、目と耳を大きくして情報を得るようにすることで各 RC にふさわしい方が見つかると思いません。

また、佐々木ガバナーは議論より行動をととも言われております。「ロータリーに NO はない」を分区内ロータリアンの諸兄にご理解と再確認をいただき、各 RC の活性化を図りながら「会員増強」が実現できるよう努めます。



委員長あいさつ

クラブ奉仕委員会 委員長 吉田 武彦（小千谷 RC）



佐々木昌敏ガバナーが掲げる地区目標の達成に向け、ガバナー補佐と協力し各クラブの機能を充実させるため、クラブの運営に関わる活動の全てを支援致します。

○会員基盤の拡充をめざして

1. 地区の会員純増 10%をめざし、地区研修・協議会に於いて、クラブ会長の方々から各クラブの具体的な会員増強目標の確約を頂きました。目標の達成に向け、若い会員・女性会員の入会推進を、お願いします。
2. クラブの職業分類に、地元のさまざまな職業が反映されているか検討し、会員候補者のリストを作成し、正式に入会を勧めるよう行動して下さい。
3. 会員増強クラブ表彰を実施します。
4. 月信及び地区ホームページで新入会員を紹介します。
5. 地区会員増強セミナー。 5月24日実施済み。
6. 地区会員（入会1～3年）研修。 7月26日開催予定。

○小委員会相互の連携について

クラブの公共イメージは、会員の増強に直接影響を及ぼします。クラブの会員増強委員会と広報委員会は連携を図り、クラブの行事や奉仕プロジェクトの広報を行い、ロータリーへの理解と関心を広め、入会への魅力を高めるよう、努めて下さい。

○国際大会参加の呼びかけ

サンパウロで開催される RI 国際会議への多くの方々の参加を、お願い致します。



委員長あいさつ

職業奉仕委員会 委員長 高橋 悟（雪国魚沼 RC）



「教育の目的は知識の取得ではなく、実践に備えた知恵の取得である。」

佐々木ガバナーより職業奉仕委員長を拝命した折に最初に思いついた古人の言であります。

ロータリー暦の少なさは言うに及ばず、活動の本質さえ見えない自分にとって一年で何が出来、僅かであっても貢献できることはないかと思案の末に、自らが経験し社会に広く伝えることが有益で、かつ未来へとつながる事業を展開したいと思いました。

そこで中学生や高校生を対象としたインターンシップを取り上げようと思い立ちました。新潟県においては中学校 181 校、高等学校 94 校でインターンシップやデュアルシステムと言ったキャリア（社会経験を伴う）教育が取り入れられていますが、私たち受け入れ側と、学校、更には生徒にとってたくさんの課題があると言えます。

その目的は体験的な学習活動により、望ましい勤労観や職業観を身に付け自らの進路選択の選択、決定能力を育もうとするものです。

この活動に取り組むと必ず突き当たるのは、実践のあり方が不明確であるということです。教育現場にとっては生徒も教師も社会経験がなく、インターンシップの期間を充実した教育の場と捉えるにはあまりにも漠然とした知識しか持ち合わせず、一方受け入れ企業にとっても生徒がどこまでの心構えを持って臨んでいるのかが判らない状況で双方にとって単なる職場訪問としての時間を過ごすのみであります。

原因がわかっていても解決には一方では無理である処に、今年度から高等学校教育課が現場の声を反映したインターンシップの頒布資料を作成することとなり、環境の変化が期待されることとなりました。

そこには期間中の教育の手順や時間配分などが判りやすく説明され、双方が同じ資料を挟んで会話をすることが安易に可能となります。

この資料を基にロータリークラブの会員が積極的にインターンシップの受け入れを行うことは、目的の達成に近づくだけでなく、ロータリー会員にとっても自らの職業の尊さを伝えることで未来の仲間作りが可能となるであろうと思います。

各クラブにおいてはクラブ活動の際に職業奉仕委員会の委員によってインターンシップの目的と実践の有効性を啓蒙していただき、実行されれば広く社会への喧伝となり、ロータリーの有効性が実証されるであろうと確信しております。

この教育が生徒にとって必ずや「実践に備えた知恵の取得」となることを願ってやみません。

委員長あいさつ

社会奉仕委員会 委員長 村山 徹（十日町 RC）



地球を取り巻く環境、特に自然界の変化は世界に類を見ないほどの災害の多発を招き、また人間社会の経済環境変化による大気汚染、特に中国の無分別な大気汚染は世界が注視をせざるを得ない大変な問題に発展しております。

また日本国内では自然環境のバランスの変化による集中豪雨、東日本大震災の復興、復旧等大きな問題を抱えております。

さてこのような時代において佐々木ガバナーエレクトはゲイリーC.K.ホァンRI会長エレクトの「ロータリーに輝きを」をテーマに「ロータリーはあなた自身から」をスローガンとして活動されることを宣言されました。まさしく現在の社会にあってロータリーの社会奉仕はどのような方向を目指すのか見えてくるところです。

したがって本年は次の、4項目を中心に各クラブの皆様方から地域と密接な関係を持ちながらロータリーが輝くことを一人一人がご自身で実践されますことを念じております。

1. 地域社会に対し、ロータリーとして地域の要求する情報を求め、それらをベースに奉仕のありようを検討する。
2. 地域社会の諸団体あるいはリーダー的立場にある人々と密接な関係を取りながらロータリーの奉仕活動が一般の人々に理解されるように広報活動を行う。
3. ロータリー地域協働ネットワークセンターなどロータリーが提唱するグループとの連携をはかり協力体制を整える。
4. 地区補助金の有効活用。

5. 今後の予定

社会奉仕委員長会議

8月25日（月） 会場：JA 越後おぢや「グリーンパーク」

12月5日（金） 会場：JA 越後おぢや「グリーンパーク」



委員長あいさつ

国際奉仕委員会 委員長 青木 省一（長岡西 RC）



本年度、国際奉仕委員長を務めさせていただきます。宜しくお願いいたします。

ロータリーの国際奉仕が目指していることは「奉仕の理想に結ばれた、事業と

専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」ことにあるとしています。

RIにおいて国際奉仕に関わるプログラムもさまざまに変遷するなか、当地区で継続的に各クラブで行われている、海外地区・クラブとの交流（相互クラブ訪問・家庭訪問）の姉妹クラブや友好クラブの活動の紹介をしていきます。

計画

1. 国際奉仕フォーラムの開催

- ・国際奉仕プログラムの理解を深めていただく活動の紹介や報告
- ・青少年交換プログラムの理解と推進

2. 国際交流イベントの紹介・推進

新潟県内の身近な国際交流イベントの紹介や留学生との交流を推進します。



委員長あいさつ

青少年奉仕委員会 委員長 高坂 光一（高田 RC）



ロータリーの第五奉仕部門である青少年奉仕は、『指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである』と規準されています。

今年度、本委員会ではそれらの規準に加え、「楽しいことが一番！」という佐々木ガバナーの思いを請け、各委員が協力し合い「次世代を担う人材育成」「活動の広域的周知」を目指し、活動してまいりたいと考えます。

1. 若者の成長のきっかけとなる各種事業の実施に対する協力と支援。
2. 若い世代のロータリーへの理解を高めるため、多くのロータリアンと触れ合う機会を設け、相互理解を深める。
3. インターアクトは提唱クラブと協力し、所属校の指導教諭との関係性を深める。
4. ローターアクトは、地区 RA 委員長が中心となり、彼らの活動の情報集約・拡散に努める。さらに彼らが既成の活動に満足せず、「若者らしく思う存分」活動するよう必要に応じ助言する。
5. RYLA は、参加する若者が一定期間内で最大の変化・成長を遂げると共に、将来に向けた良い仲間作りの礎となるようなプログラムを実施するよう努める。

いずれの場合も、若い彼らの気づきと自主性を活動の基本としますが、経験・知識豊富なロータリアンの皆様は、高い関心を持ち、共に活動し、「励ましの言葉」「温かい眼差し」「的確な指導」を与えていただくことで、純粋な彼らは大きな刺激を得、よりパワーUPした活動に繋がることを期待されます。

つきましては現在提唱クラブはもちろん、未提唱クラブの皆様方にも各種プログラムに積極的に参加賜り、彼らと関係を深め、互いを知り理解を深めて頂きますようお願い申し上げます。

委員長あいさつ

インターアクト委員会 委員長 笠原 廣（長岡 RC）



インターアクトクラブは、次世代を担う 12 歳から 18 歳までの青少年を対象に、国際ロータリーが提唱する『超我の奉仕の理念』を継承して頂く貴重なクラブ活動です。RI2560 地区内の 56 ロータリークラブに於いては、インターアクト提唱ロータリークラブである 11 クラブの支援によって、高等学校（高等専門学校含む）の 12 校でインターアクトクラブが結成されています。そして、そのインターアクトクラブ会員（インターアクター）による各種「社会奉仕活動」や「国際親善活動」が展開されております。特に 2014-2015 年度は、RI2560 地区主管で国際交流事業（台湾研修・招聘）が計画されており、ロータリアンとインターアクターが共に国際交流の深耕に努めてまいります。つきましては、地区方針（スローガン）を受けて「2014-2015 年度 インターアクト委員会 基本方針」を下記のように定め、皆様のご協力を賜りながら進めてまいりますので宜しくお願い致します。

1. ロータリアンとインターアクターが積極的に交流を深める。
2. 交流を通じて『参加者が満足と感動を得る』に沿った企画運営にする。
3. インターアクトクラブ並びにインターアクターの増員・増強を積極支援する。

そして、以下の具体的活動を実施してまいります。皆様のご協力とご支援を宜しくお願いいたします。

1. インターアクト年次大会 2014 年 7 月 12 日(土)～13 日(日) ホスト校：長岡工業高等専門学校
2. 優秀インターアクト表彰 2014 年 7 月 13 日(日) （インターアクト年次大会にて）
3. 献血奉仕活動 2014 年 12 月下旬
4. 国際交流事業 2014 年 12 月下旬
5. インターアクト海外研修 2015 年 3 月下旬 中華民国(台北) 3泊4日予定
6. 台湾高校学生受入交流 2015 年 4 月下旬

委員長あいさつ

ローターアクト委員会 委員長 高橋 清文（新潟 RC）



このたび 2014-15 年度地区ローターアクト委員長に就任となります新潟 RC の高橋清文でございます。

2008 年に入会させて頂き、2010 年に新潟 RC のローターアクト委員長を仰せつかりそれ以来 RAC の活動に携わってまいりました。

その年は全国研修会が新潟開催の年で、アクトメンバーの皆さんは本当に献身的に役割を勤め本大会が大成功に終了いたしました。

18 歳から 30 歳までの将来を担うアクターたちの原動力を目の当たりにし、大変感激を受けた次第です。

その後 2012 年地区のローターアクト委員に選任をされ、新潟クラブでの活動から地区活動へと移行してまいり現在を迎えております。

以前新潟 RC で情報委員会に所属している際、新世代奉仕の資料からある声明文に出会うことができました。その声明文は 1990 年 R I 理事会での〈子供の権利〉に関する声明文でした。

〈子供の権利〉

◎傷つきやすいがゆえに、子供には特別な配慮と保護が必要である。

◎世界中のすべての国に、非常に困難な事情の下に生活している子供たちが存在している。

◎すべての子供たちは、平和、尊厳、寛容、自由、平等な環境の下に成人することができなければならない。R I は以上のことを認識して、すべての子供が、充分の食料住居、保健衛生、教育を受け、虐待、暴力から守られる権利を有することを保証、支援する。世界中のロータリークラブは、人種、信条、国籍に関係なく、すべての子供たちのこれらの権利を保護することに献身する。

[Rights of Children] (1990 年 R I 理事会)

この声明文に出会うことにより青少年奉仕の活動のひとつであるローターアクトクラブへの支援を勇気づけられたものです。

大変微力ですが地区ローターアクト委員長として 1 年間ベストを尽くしてまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

委員長あいさつ

ライラ委員会 委員長 木戸 信輔（加茂 RC）



ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）は、年齢 14～30 歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。

2014～2015 年度国際ロータリー第 2560 地区ライラ研修は、平成 26 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）に加茂クラブをホストクラブとして開催する予定です。

本年度の開催地加茂市は、北越の小京都と呼ばれる山紫水明の街であります。街なかに加茂山公園があり、その杉木立は清涼の気を発しております。また街の中央を清流加茂川が流れています。

記

- 1 研修会名 2014～2015 年度 国際ロータリー第 2560 地区
第 14 回 R.Y.L.A 研修会
- 2 主 催 国際ロータリー第 2560 地区 RYRA 委員会
- 3 主 管 ホストクラブ = 加茂ロータリークラブ
コ・ホストクラブ = 田上あじさいロータリークラブ
- 4 研修テーマ 「まちづくり、人づくり、自分づくり」
～小京都加茂の魅力の再発見、そして発信～
- 5 主任講師 新潟経営大学教授 中島 純 先生
- 6 研修期日 2014 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）一泊二日
- 7 研修会場 新潟経営大学
〒959-1321 加茂市希望ヶ丘 2909-2
電話 0256-53-3000(代) Fax 0256-53-4544

* 会場は、駅から離れています。自家用車の利用をお願いします。

以上



委員長あいさつ

青少年交換委員会 委員長 横山 亘（高田東 RC）



2月のPETS、4月の地区研修・協議会と、新年度の大きなカンファレンスが終わり、いよいよ佐々木ガバナー年度がスタートしたと感じております。地区メンバーの前での発表は不安と極度の緊張感であまり記憶に残っていないのが正直なところですが、今の自分は新鮮な気持ちで、そしてロータリアンの皆様のお役に立てるようにと精進して参る所存でございます。

私は、2011年に地区の青少年交換委員会に出向し3年間、委員として関わってまいりました。当時はロータリアンの先輩から誘われて、軽い気持ちでNOと言えないまま、地区の出向を受けたような気がします。しかし、委員会に出席するたびに、非常にボリュームのある委員会であると気付き、時間とスケジュールの管理に追われ挫折しそうな時もありました。その時、当時の委員長や先輩ロータリアンに励まされ、必死に背中を追い事業に関わり、役割の責任を果たす度に何とも言えない充実感を感じることができました。それは、青少年交換事業がロータリーにとってまたロータリアンにとっても大変有意義で大切な事業であると理解したからです。

私がロータリーの青少年交換事業に誇れるところは、希望をもった日本と他国の交換留学生が期間を終え彼ら学生の成長を見届けた時です。不安のないまま出発する学生はいませんが、帰国時に、ロータリーの青少年交換事業の目的である国際親善大使として、これからの世界平和に寄与すると言う自覚を身につけ、自信と誇りを持って成長してくるからです。彼らのこれからの行動はきっと彼らの人生においてまた、世界の協調においても役立つものと確信しております。またロータリーの留学生の先輩で作るROTEXのメンバーの中には、既に実践し行動しているメンバーも数多くいます。若い彼らが夢を願いに、願いを形にする過程に、我々が共に過ごせることは、これぞロータリアンとしての使命と責任ではないでしょうか。

私達は、この意義あるロータリーの青少年交換事業を更に充実し確かなものとするために研鑽し尽力する所存でございます。どうか皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

最後に、当委員会に出向いただいたメンバーそして出向に際しご理解頂きました各クラブの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員長あいさつ

米山記念奨学委員会 委員長 安藤 幸夫（新潟東 RC）



思い起こせば、横山ガバナー年度に見習いで地区の米山奨学委員会に入会させていただき、爾来途中で休憩もありましたが、今年で11年目を迎えることになりました。今年はその集大成の意味も込めまして微力を尽くしたいと想っています。

なぜ今、米山奨学制度が必要なんだろう？

時代も変わりこのままの運営でよいのだろうか？

この間、多くのロータリアンから様々なご意見を頂戴し、また私自身もこのことについて迷った経験もいたしました。

米山梅吉翁の遺徳を偲び、古沢丈作氏を中心に東京RCが「米山基金」の募金を開始し今年で61年がたちました。

その願いとは！

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」『ロータリー米山記念奨学会史』より

今、くしくもそのアジアで平和と逆行するように緊張感が高まっています。

61年前のその願いをあらためて読み直す時、政治を離れてロータリーが人と人を日本特有の『縁』によって結び付けてゆくこの国際奉仕の大切さをあらためて感じざるを得ません。

一人でも多くのロータリアンとこの想いと価値を共有できたらとても嬉しく思います。

日本で最初のロータリーを立ち上げ、その後世界が戦争への道を選択してゆくなか、一番悲しく国と国の政府のなすことへの無力感を感じた一人が米山梅吉翁だったのではないのでしょうか。その逝去は終戦の翌年、日本が国際ロータリーに復帰する3年前の1946年でありました。

今年も14名のスタッフが力を合わせ、2560地区の各RCの米山奨学事業のお手伝いをさせていただく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

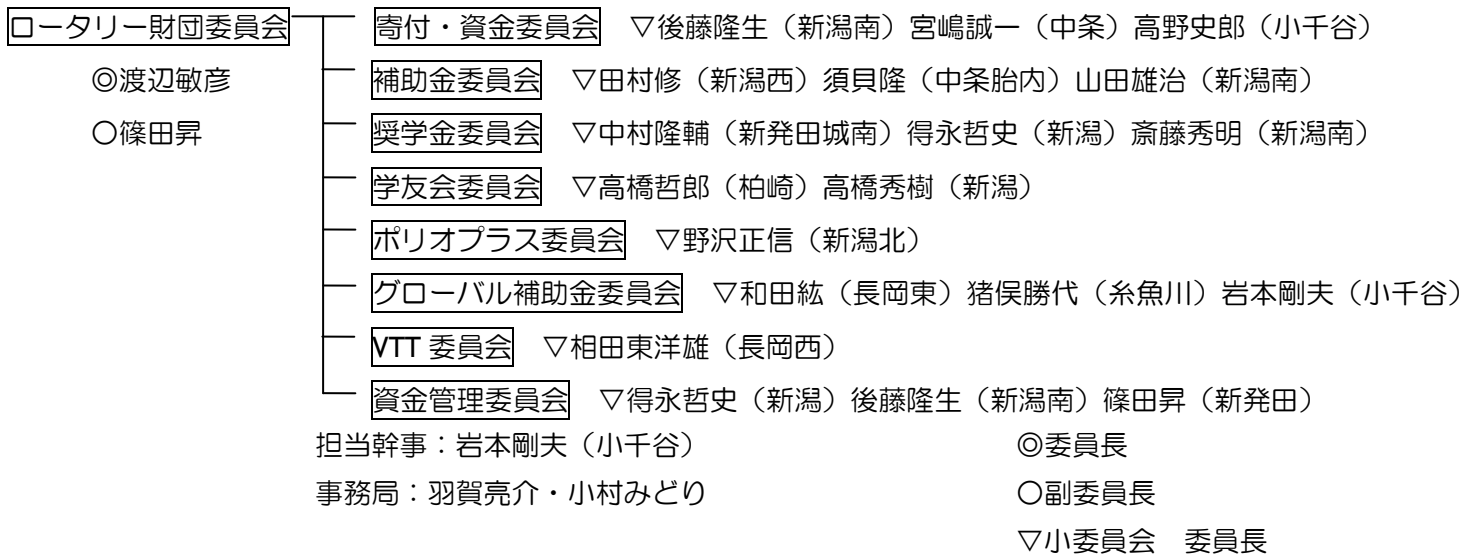


委員長あいさつ

ロータリー財団委員会

委員長・パストガバナー 渡辺 敏彦（新潟南RC）

2014-15 年 佐々木年度のロータリー財団委員会は、委員長・副委員長のもとに 8 つの委員会で構成されています。前年度から「未来の夢計画」＝新補助金システムが稼働した訳ですが、2 年目となる今年度も、その組織を引き継いで、新しい委員も加えて運営します。



1. ロータリー財団の意義の普及

百年の歴史を持つロータリーを世界的に有名にしたのは、R 財団の活動に他なりません。しかし、ロータリーの会費は R I と地区やクラブの維持・運営の為であり、R 財団の活動資金は会員の寄付によってのみ賄われています。その事が十分には周知されていないので、あらためて R 財団の意義を普及させていきたいと思えます。

2. 「未来の夢計画」＝新補助金制度のさらなる普及と実施

鈴木年度より研修と広報を重ねて参りましたが、当該年度を迎えるに当たり、その普及を更に行い、会員 1 人 1 人への周知を図りたいと思えます。

3. ロータリー財団への寄付増進

R 財団のシェアシステムとして、3 年後に地区に戻る地区財団活動資金（DDF）をいかにして確保するかが、毎年のテーマとなります。その為、R 財団の意義をさらに周知し、R 財団への寄付増進を計るべく各クラブの R 財団委員長にお願いして参ります。

4. ロータリーカードの加入促進

ロータリーカードでの買い物は、自動的に 0.3% が R 財団へポリオ撲滅のための資金に還元されます。今までは、個人用のゴールド、スタンダードカードだけでしたが、2013～14 年度より、ビジネスカードが出来ました。その還元率は 0.5% となります。ロータリーカードの加入促進のお願いをして参ります。



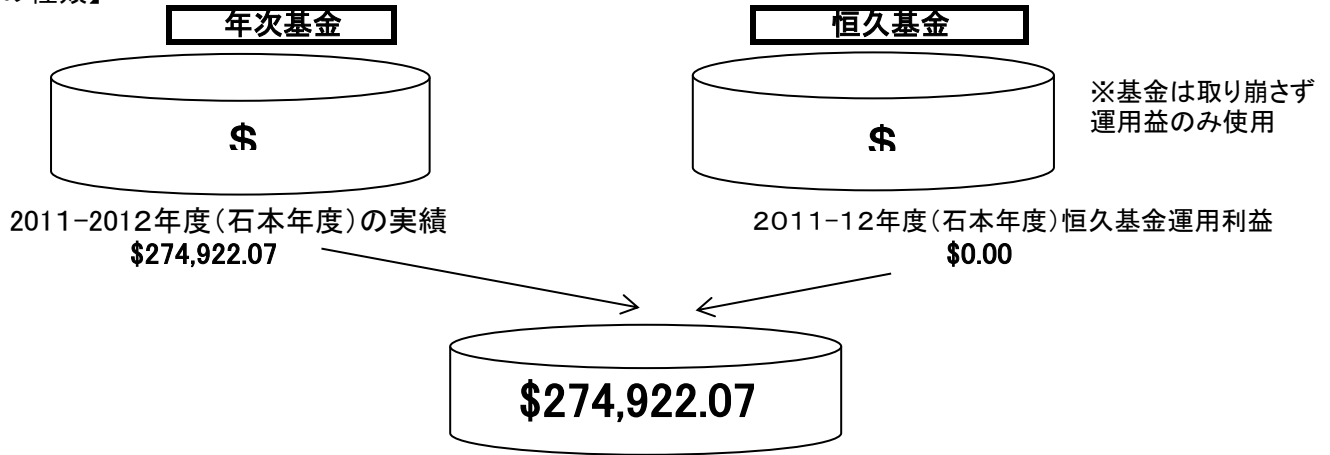
地区ロータリー財団の寄付金について (2014-15年度 佐々木年度)

「佐々木年度の寄付目標」

- 年次基金 1人100ドル(1万円)×会員数(2,000人推測)総額210,000ドル
- 恒久基金 ベネファクター 10名目標 10,000ドル
- 用途指定寄付(ポリオプラス)一人10ドル(千円)

ロータリー財団 活動資金の配分 (2014-15年度 佐々木年度)

【寄付の種類】



【寄付の行方】 佐々木年度で利用できる

■地区財団活動資金(DDF)	
(50%)	137,461.04 ドル
(50%)恒久基金の運用益	0.00 ドル
今年度地区配分可能 DDF 計 ①	<u>137,461.04</u> ドル
調整金(奨学金等の戻り)	0.00 ドル
前年度繰越金	38,905.24 ドル
前年度繰越調整金 計 ②	<u>38,905.24</u> ドル
今年度DDFの総額	176,366.28 ドル

■国際財団活動資金(WF)	
(50%)	137,461.04 ドル
(50%)恒久基金の運用益	0.00 ドル
WF	

WFから同額補助される

地区ロータリー財団DDF配分 (使用別)

地区補助金 (①×50%以内)	
1・地区奉仕プロジェクト	36,500.00 ドル
2・第2560地区奨学金	30,000.00 ドル
3・職業研修チーム派遣(VTT)	0.00 ドル
4・臨時費・管理運営費	1,500.00 ドル
5. 未予定	730.52 ドル
地区補助金 計 ③	68,730.52 ドル
DDF未使用額((①/2)-③+②) ④	38,905.24 ドル
ポリオプラス寄贈	20,000.00 ドル
災害復旧寄贈	0.00 ドル
その他寄贈等	10,000.00 ドル
寄贈等 合計 ⑤	30,000.00 ドル
次年度への繰越金(④-⑤)+⑥	(47,635.76 ドル)

グローバル補助金(提唱者地区負担分)	
1・人道的プロジェクト	15,000.00 ドル
2・財団奨学金	15,000.00 ドル
3・職業研修チーム派遣(VTT)	0.00 ドル
4・	0.00 ドル
未予定 ⑥	38,730.52 ドル
グローバル補助金 計	68,730.52 ドル

注)
 ・グローバル補助金の提唱者負担分合計がDDFの1/2を超えた場合、越えた金額分、地区補助金の使用可能額が減額されます。
 ・次年度への繰越金は次年度のDDFに繰り越されますが地区補助金配分計算の対象外となります。(寄贈関係で使用可)

ロータリー地域協働ネットワークセンター活動方針

センター長 鈴木 重孝（長岡RC）



I. 基本方針

地区内のロータリアンはもとよりロータリー家族と共に、多くの地域活動団体と情報を共有し「地域と協働するロータリー」を具現するために諸活動を推進すると共に、ゲイリーC. K. ホアンR I 会長の提唱された「ロータリーデー」の実施に向けて地区内全委員会と連携して積極的に活動する。

II. センターの活動目的

1. 活動を通じて地域に貢献する

：地域内でのロータリーへの認識を高めることによって会員増強の一助とする。

2. 地区内ロータリアンの互助力・共助力を高める

：会員間のより強固な絆づくりを進める。

：ロータリーデーの開催を主管しロータリー家族の融和を図り、ロータリーの良さを共有し地区発展のエネルギーとする。

3. 危機管理意識の啓発と行動力の強化

：防減災セミナーを開催し、いざの備えと安全の確保の大切さを周知する。

III. 取り組みの概要

1. 協働団体との連携強化

関係団体とのインフラ整備を進める。

2. 緊急時対応の整備

①被災者支援体制・緊急連絡網・協働支援ネットワークシステム等を構築する。

②会員の理解と協力の下に、災害への迅速な支援に備えて以下の整備を進める。

★資機材の提供 ★人的資源の確保 ★経済的な支援

3. 防減災セミナーの開催…平成26年7月19日（土）

目的：地域連携・危機管理意識昂揚を図り「いざの備え」をする。

会場：長岡市震災アーカイブセンター

参加対象者：ネットワーク緊急連絡網に登録された担当者を中心とする。

4. ロータリーデーの開催…平成26年10月12日（日）

目的：中越大震災（平成16年10月23日）から10年、ロータリーが被災直後から支援してきた被災地の皆さんと協働し、地域の未来に向けたロータリー活動の継続と地域コミュニティの活性化、次世代育成の一助とする。

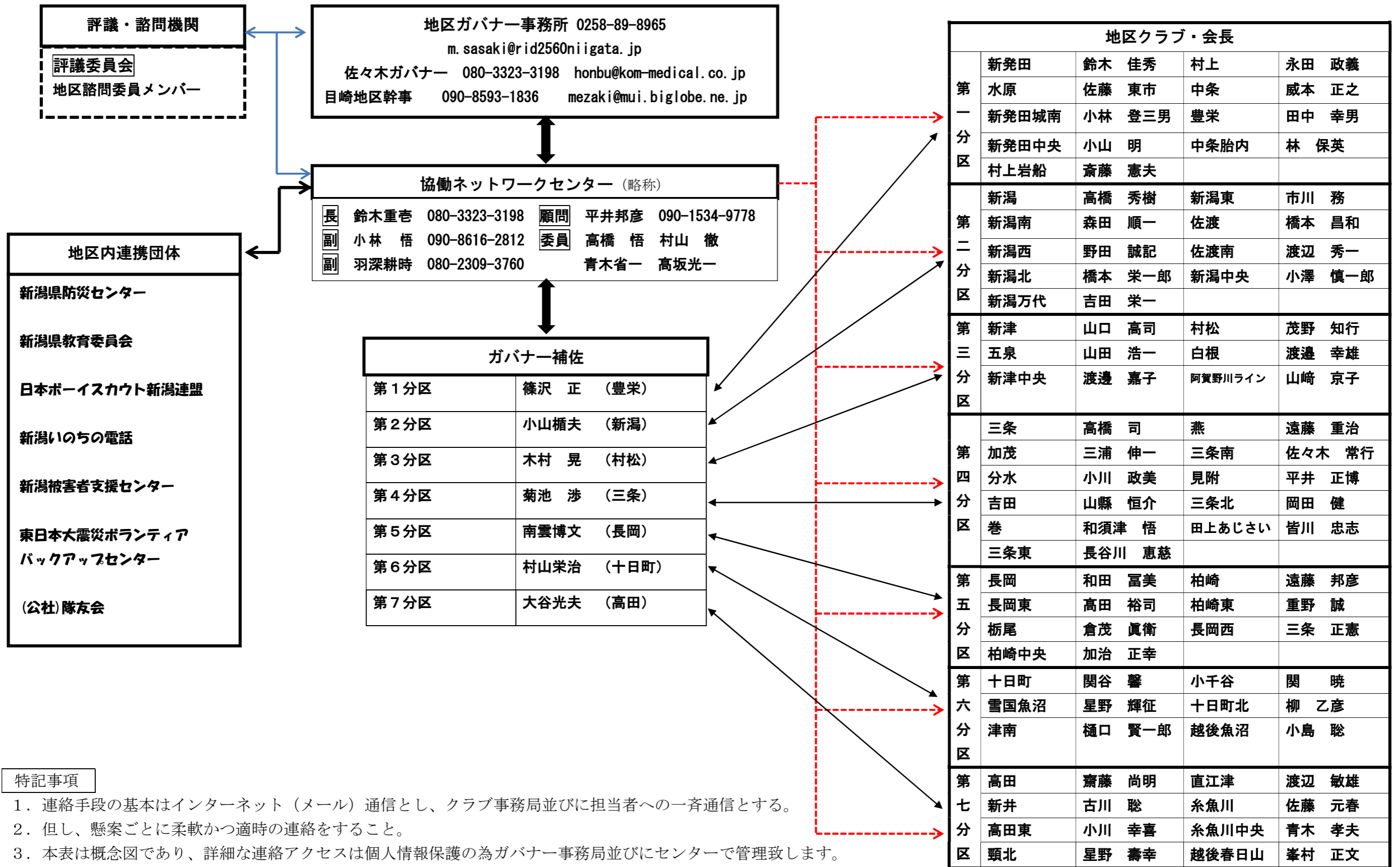
会場：山古志体育館並びに中越メモリアル回廊（長岡市山古志支所構内）

（山の暮らし再生拠点施設：通称ロータリーハウスの見学）

参加対象者：佐々木年度地区役員、地区内クラブ会長・幹事、地区内クラブのクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各大委員長、青少年奉仕委員長、IA、RA、ローテックス、米山奨学生、青少年交換学生とロータリアン家族ほか

※天候や地域行事との関係で内容の変更もあり得ますのでご了承ください。

2014～2015 ロータリー地域協働ネットワーク緊急連絡網



特記事項

1. 連絡手段の基本はインターネット（メール）通信とし、クラブ事務局並びに担当者への一斉通信とする。
2. 但し、懸案ごとに柔軟かつ適時の連絡をすること。
3. 本表は概念図であり、詳細な連絡アクセスは個人情報保護の為ガバナー事務局並びにセンターで管理致します。お問合せいただければ、詳細情報をお知らせいたします。

平成 26 年 5 月 29 日

第 19 回全日本青少年交換研究会福島会議に出席して

青少年交換委員長 倉茂 章



5 月 24、25 日リステル猪苗代ホテルで全日本青少年交換研究会福島会議が開催されました。当地区からは青少年交換委員、派遣候補学生、受入学生の計 13 名で参加をさせていただきました。

私は、当地区と 25 年以上の永きに渡り夏期交換事業をしているドイツ役員 Thomas Lieb 氏を郡山駅にアドバイザーの室賀信宏氏と共に迎えに行き、前日 23 日に開催された Bernhard Zimburg オーストリア駐日大使歓迎晩餐会から参加さ

せて頂きました。福島とオーストリアとの関係は 3 年前の原発事故に由来するものです。当時オーストリア政府が福島の被災高校生を短期留学という形で受入れた経緯があり、友好の証として、駐日大使がこの福島会議にご参加下さいました。オーストリアと言えば私の地元スキー発祥上越市とも関係の深い国です。ゆるキャラ「レルヒさん人形」を友好の証として私から大使にプレゼントもさせていただきました。

さて、福島会議では、危機管理、災害時の対



応、被災地への支援について討議され、実際に被災された方からの具体的なお話も聞くことが出来ました。また、全国から集まった青少年は「この被災に対し自分たちに何が出来るのか」をテーマに話し合いが持たれました。夜遅くまで意見を出し合い、早朝からは発表に向けてまとめ上げていく生き生きとした子供たちの姿を目の当



たりにして、この委員会で仕事が出来る喜びを改めて感じさせていただきました。

統一保険、再認証の問題など青少年交換には課題が山積しています。地区だけでは解決できない問題を全国の委員長と話し合うことで大きな勇気を頂いた会議でもありました。



会員増強セミナー

国際ロータリー第 2560 地区 クラブ奉仕委員長 吉田武彦



佐々木ガバナー年度がいよいよスタートです。それに先駆け、各クラブの会長・幹事・クラブ奉仕委員長（会員増強委員長）の方々から、佐々木ガバナーが掲げる会員純増 10%の地区目標達成をめざし、4月12日開催の地区研修・協議会に於いて各クラブの会員増強目標の確約を頂きました。

本セミナーは、各クラブの目標達成のため作成された会員候補者リストを基に新会員の入会推進に向け、如何に行動すべきかを討議し、会員増強に依り各クラブの機能の充実と活性化を図るため、佐々木ガバナー・ガバナー補佐・クラブ会長・会員増強委員長（クラブ奉仕委員長）他、地区内 46 クラブ・84 名の参加を得て、5月24日・サンラック小千谷に於いて開催いたしました。

セミナーの前半では、各分区の代表者 6 名の方々から「ロータリーの感動を語ろう」と題してロータリーの魅力についてショートスピーチをいただき、会員候補者にロータリーの素晴らしさを伝える事の大切さを学びました。

また、休憩後の後半では、3 名の方々から「会員増強の成功事例」の発表をいただき、これからの増強活動の参考として、貴重な意見を窺うことが出来ました。

そして、分区ごとの討議では、会員候補者リストの内容確認と、会員増強に向けた、行動計画の具体化を討議し、各分区の代表者から討議結果の発表をいただき、共有化を図り、会員増強に向け率先して行動することを確認し、セミナーを閉会しました。



2014-15年度 地区主要行事予定 (佐々木年度)

2014年6月23日現在

年月日		行事		会場	
2014年 (H.26)	7月	1	(火) ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪	
		1	(火) ガバナー・ロータリーの友委員会・法人合同会議	グランドプリンスホテル高輪	
		2	(水) ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪	
		6	(日) 全国青少年交換委員長会議	品川プリンスホテル	
		13	(日) 国際奉仕フォーラム	まちなかキャンパス(長岡)	
		12~13	(土~日) インターアクト年次大会 (ホストクラブ:長岡RC)	長岡工業高等専門学校	
		19	(土) ロータリー財団定例ミーティング	万代シルバーホテル	
		20~21	(日~月) 青少年交換委員会 夏期交換学生歓迎キャンプ	妙高自然の家	
		26	(土) 入会1~3年会員研修	JA越後おぢや「グリーンパーク」	
		下旬	青少年交換委員会 ドイツ学生研修旅行	未定	
	31	(木) 青少年交換委員会 夏期交換学生歓送会	ANAクラウンプラザホテル新潟		
	会員増強および拡大月間				
	8月	1	(金) 青少年交換委員会 夏期交換ドイツへ派遣	新潟空港	
		9	(土) ロータリー財団地区奨学生選考試験・財団ミーティング	万代シルバーホテル	
		22	(金) 青少年交換委員会 夏期交換学生帰国	新潟空港	
		23	(土) 第1回ロータリー財団セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟	
		25	(月) 社会奉仕委員長会議	JA越後おぢや「グリーンパーク」	
		30	(土) 米山奨学生親睦交流会	未定	
	新世代のための月間				
	9月	2	(火) ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)	未定	
		4	(木) 2015-2016年度の地区研修リーダーのためのセミナー(DTLS)	未定	
		6	(土) 第5分区IM(南雲G補佐・長岡RC)	長岡グランドホテル	
		7	(日) 青少年交換委員会 夏期、1年帰国受入学生報告会	まちなかキャンパス(長岡)	
		12	(金) 米山記念奨学委員会 大学担当者向け米山制度説明会	チサンホテル&コンファレンスセンター新潟	
		20	(土) 第4分区IM(菊池G補佐・三条RC)	ジオ・ワールドVIP グランドホール	
		23	(火) 第1分区IM(篠沢G補佐・豊栄RC)	月岡温泉 ホテル清風苑	
		27	(土) 第3分区IM(木村G補佐・村松RC)	五泉市村松支所内講堂	
		27	(土) 第7分区IM(大谷G補佐・高田RC)	未定	
		27~28	(土~日) ライブ研修 青少年奉仕委員会	新潟経営大学(加茂市) 未定	
	職業奉仕月間・米山月間				
	10月	4	(土) 第1回米山委員長セミナー	JA越後おぢや「グリーンパーク」	
5		(日) 第6分区IM(村山G補佐・十日町RC)	当間高原リゾート ベルナティオ		
9		(木) 佐々木年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会	小千谷カントリークラブ		
12		(日) ロータリーデー	山古志		
25		(土) 佐々木年度 RI会長代理歓迎晩餐会	小千谷市総合産業会館サブプラザ		
26		(日) 佐々木年度 地区大会 ロータリー財団地区奨学生オリエンテーション・財団定例ミーティング	小千谷総合体育館 未定		
2014年 (H.26)	11月	ロータリー財団月間			
		22	(土) 2015-16(山本)年度1年派遣学生選考試験・ROTEX会議	まちなかキャンパス(長岡)	
		25	(火) ロータリー財団地域セミナー	ホテルグランバシフィック LE DAIBA	
		26	(水) ガバナー会議	ホテルグランバシフィック LE DAIBA	
		26	(水) ガバナー・エレクト研修セミナー(GETS)	ホテルグランバシフィック LE DAIBA	
		27~28	(木~金) ロータリー研究会	ホテルグランバシフィック LE DAIBA	
	29	(土) 米山学友会総会	ホテルオークラ新潟		
	29	(土) 第2回全国青少年交換委員長会議	東京		
	新潟南RC 55周年 (11月予定)				
	12月	家族月間			
		5	(金) 山本ガバナーエレクト渡米壮行会	未定	
12		(金) 社会奉仕委員長会議	JA越後おぢや「グリーンパーク」		
21		(日) ロータリー財団定例ミーティング・懇親忘年会 第1回1年交換派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	未定 ANAクラウンプラザホテル新潟		
2015年 (H.27)	1月	ロータリー理解推進月間			
		18~24	(日~土) 2015年度国際協議会	アリカカリフォルニア州サンディエゴ	
		17	(土) 2014年度米山奨学生選考会	万代シルバーホテル	
	17	(土) ロータリー財団定例ミーティング	未定		
	2月	世界理解月間			
		7	(土) 第2回米山奨学委員長セミナー	万代シルバーホテル	
		14	(土) 第2回ロータリー財団セミナー	未定	
	21	(土) 山本年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)	ホテルオークラ新潟		
	3月	識字率向上月間			
		7	(土) 米山奨学生修了式・歓送会	ANAクラウンプラザホテル新潟	
		7	(土) ロータリー財団定例ミーティング	未定	
		14	(土) ローターアクト地区大会	ホテルオークラ新潟	
		21~22	(土~日) 全国ローターアクト研修会	福島	
	22	(日) 第2回青少年交換学生オリエンテーション・新旧引継ぎ会議	まちなかキャンパス(長岡)		
	下旬	インターアクト海外研修(3泊4日) 中華民国(台北)			
4月	ロータリー雑誌月間				
	11	(土) 米山カウンセラー研修会	JA越後おぢや「グリーンパーク」		
	25	(土) 台湾インターアクト長岡工業高等専門学校受け入れ式典・パーティー ロータリー財団奨学生募集説明会 新津RC60周年 (4月予定)	長岡工業高等専門学校 ガレツソホール 未定		
	5月	ロータリー親睦活動月間			
		2~4	(土~月) 青少年交換委員会 京都研修旅行	京都	
		10	(日) 山本年度 地区研修・協議会	ホテルオークラ新潟	
		16	(土) 米山奨学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟	
	16	(土) 佐渡南RC 40周年 青少年奉仕委員会新旧引継ぎ会 新潟西RC 40周年 (5月予定)	八幡館 未定 ホテルオークラ新潟		
	6月	ロータリー親睦活動月間			
		6~7	(土~日) ローターアクト地区協議会	メイワサンピア	
7~10		(日~水) RI国際大会	ブラジル・サンパウロ		
14		(日) 第3回青少年交換学生オリエンテーション・夏期派遣オリエンテーション・派遣学生壮行会・受入学生お別れ会	ANAクラウンプラザホテル新潟		
14	(日) 学友会総会 地区諮問委員会 佐々木年度感謝の集い	ホテルイタリア軒			

2014-15年度 佐々木ガバナー公式訪問日程表(案)

2014年6月2日現在

☒ 予定あり

※ クラブ名のあとの数字は分区

2014年

	月	火	水	木	金	土	日
7月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16 中条 1	17	18	19	20
	21 海の日	22 長岡 5	23	24 新潟西 2	25	26	27
	28	29 三条北 4	30	31			
8月					1 高田 7	2	3
	4	5 新潟 2	6 柏崎 5	7 白根 3	8	9	10
	11 三条南 4	12	13	14	15	16	17
	18	19 豊栄 1・水原 1	20 新潟南 2	21 五泉3・阿賀野川3	22	23	24
	25	26 直江津 7	27	28 村上 1	29 吉田 4	30	31
9月	1 新発田 1	2 新津中央 3	3 巻 4	4 三条東 4	5	6 第5分区IM 長岡グランドホテル (長岡市)	7
	8 高田東 7	9 村松 3	10	11 糸魚川 7	12 中条胎内 1	13	14
	15 敬老の日	16	17 佐渡南 2	18 佐渡 2	19	20 第4分区IM ジオ・ワールド・VIP グランド ホール(三条市)	21
	22 柏崎東 5	23 第1分区IM ホテル清風苑(月 岡)	24 頸北 7	25 見附 4	26 新潟東 2	27	28 第3分区IM 五泉市村上支所内講 堂(五泉市) 第7分区IM やすね(上越市)
	29	30					
10月			1 新井 7	2 加茂 4	3	4	5 第6分区IM 当間高原リゾートヘル ナティオ(十日町市)
	6 村上岩船 1	7 新潟中央 2	8 長岡東 5	9 地区大会 記念ゴルフ大会	10	11	12
	13 体育の日	14 栃尾 5	15 新発田中央 1	16 越後春日山 7	17	18	19
	20 新潟万代 2	21 田上あじさい 4	22	23	24	25 RI会長代理歓迎 晩餐会	26 地区大会
	27	28	29	30 長岡西 5	31 糸魚川中央 7		
11月						1	2 三条 4
	3 文化の日	4	5	6 燕 4	7	8	9
	10 津南 6	11 柏崎中央 5	12 新津 3	13 十日町 6	14	15	16
	17 新潟北 2	18 分水 4	19 十日町北 6	20 新発田城南 1	21	22	23 第2分区IM 未定
	24 振替休日	25	26	27	28	29	30
12月	1	2 越後魚沼 6	3 雪国魚沼 6	4	5	6	7
	8	9	10	11 小千谷 6	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
	29	30	31				



ハイライトよねやま 171

1 寄付金速報 — 今年度最後のご支援をお願いします！ —

5月までの寄付金は前年同期と比べ1.5%増、約1,800万円の増加です。普通寄付金が0.1%増、特別寄付金が2.2%増となりました。5月単月では前年度に比べ4カ月ぶりのマイナスとなりましたが、累計額では今月もこの5年間で最高額を維持しています。

寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日(月)までに当会の銀行口座に入金され、記帳された分までが今年度の寄付実績となります。ご送金の際には、日程に余裕を持ってお送りくださいますよう、今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 理事会開催報告 — 来年4月採用数は720人 —

第7回理事会が6月10日、都内で開催されました。全国から30人の理事と監事2人が出席し、議長は板橋敏雄理事長が務めました。

主な議題として、2014年度事業計画および収支予算が承認されたほか、2015学年度の奨学生採用数と募集要項も原案通り承認されました。堅調な寄付実績を受け、2015年4月採用の奨学生数は、全34地区への感謝の意味と公益法人としての「収支相償」の観点から、前年度から20人(枠)増の720人(枠)となります。また、8月の理事改選のために設けられる役員候補者指名委員会の委員が選任されました。



3 現役奨学生が外務大臣賞！ — 第2690地区 —



「第55回 外国人による日本語弁論大会」(主催：国際交流基金、国際教育振興会、松江市)が5月24日、島根県松江市で開催され、島根大学生物資源学部^{カギョウオン}に在籍する現役米山奨学生、何曉恩さん(中国/松江RC)が最優秀の外務大臣賞を受賞しました。

今大会では、97人の応募者の中から予選を勝ち抜いた12人が出場。何さんは「育爺時代の幕開け」をテーマに、自身が祖父母に育てられた経験とその功罪について発表しました。

大会の様子は7月12日(土)15時~16時 NHK Eテレで放送予定です(変更の場合もあり)。ぜひご覧ください。

授賞は夢のようです。人と人との絆が強い松江で、充実した留学生活を送っています。ロータリアンの方々、大学の教職員や先輩、そして何より祖父母に感謝したいです。現在は微生物を専門に研究しています。将来は、自分の専門や職業を通して日本社会に貢献できるようになりたいです。



4 学友が盲学校の生徒たちと交流 — 第 2530 地区 —

視覚障がいのある米山学友、モハマド・オマル・アブディンさん（スーダン／2005-08／東京国立うめRC）が5月16日に福島県立盲学校を訪れ、生徒と教職員へ向けて、自身の留学経験や夢に向かってチャレンジする大切さを語りました。また、同地区次年度米山奨学委員長の加藤義朋氏から寄贈されたブラインドサッカー用のボールを使ってパスやシュートを指導し、全員でサッカーを楽しみました。同盲学校の教員・鈴木美恵子氏（福島グローバルRC）は、「障がい者でありながら海外留学を果たしたアブディンさんの話を生徒たちが熱心に聞き、サッカーを楽しむ様子を見ることができて本当に嬉しい」と、語りました。生徒たちも、「外国の視覚障がい者と話すのは初めて。緊張したが、今後もっとたくさんの外国の方と交流してみたい」「私もいつかアブディンさんのように留学してみたい」と、感想を寄せてくれました。



アブディンさんは翌17日の地区協議会でも、得意のダジャレを交えながら、母国の視覚障がい者の教育支援にかける熱い思いを語りました。この日はまた、当会の事業紹介ビデオ『すばらしい贈り物』に登場した^{ボクゴウカ}朴香花さん（2008-10／三春RC）も郡山から駆けつけました。奨学期間を終えて4年が過ぎましたが、世話クラブとの交流は「思い出ではなく、現在進行形」と、嬉しい報告をしてくれました。

5 帰国学友の歓迎会を開催 — 韓国米山学友会 —

韓国に帰国した米山学友の歓迎会・懇親会（主催：韓国米山学友会）が5月31日、ソウル市^{ジョンピョンデ}内で開催され、23人が出席しました。参加者一人ひとりの自己紹介、^{ジョンピョンデ}全炳台会長のあいさつと学友会活動紹介のほか、11月15日開催予定の年次総会が案内されました。



今年3月に和歌山大学大学院を卒業して帰国し、初めて参加した^{シンユンテョル}申潤澈さん（2013-14／有田南RC）は、「とても楽しい時間でした。皆さんも帰国したらぜひ参加して」と、呼び掛けました。

6 足利市国際交流協会で学友が記念講演

5月17日、足利市国際交流協会（栃木県）の定期総会・講演会が開かれ、米山学友の^{シュウエンカ}鄒艶華さん（中国／2002-04／西那須野RC）が記念講演を行いました。鄒さんは現在、宇都宮大学大学院工学研究科の准教授で、磁気を利用した超精密加工技術の開発・研究をしています。また、第2550地区米山学友会会長として、学友のネットワーク強化にも尽力しています。

「あつという間に15年が経ちました。多くの優しさに助けられ、成長することができました。日本は私の第二の故郷です」と話す鄒さんに、会場から感動の拍手が送られました。



研究成果を披露する鄒さん(右)

第2560地区 2013-14年度 5月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	85.84	345	356	38	11
新発田	3	96.40	85	89	0	4
村上	4	84.85	32	34	7	2
水原	4	74.39	26	26	1	0
中条	4	94.12	31	34	3	3
新発田城南	5	95.00	42	41	7	-1
豊栄	3	82.94	26	27	4	1
新発田中央	4	88.66	50	51	5	1
中条胎内	4	78.45	29	29	5	0
村上岩船	3	77.78	24	25	6	1
第2分区(9クラブ)	／	86.83	405	438	17	33
新潟	3	85.56	83	95	0	12
新潟東	4	85.59	53	55	5	2
新潟南	4	85.07	85	93	0	8
佐渡	5	80.00	12	12	0	0
新潟西	4	86.98	32	34	1	2
佐渡南	3	96.00	42	44	5	2
新潟北	3	81.75	36	42	0	6
新潟中央	3	91.67	23	24	0	1
新潟万代	3	88.89	39	39	6	0
第3分区(6クラブ)	／	75.70	138	133	8	-5
新津	4	75.00	25	24	1	-1
村松	3	80.00	9	9	0	0
五泉	4	83.75	21	20	3	-1
白根	5	81.80	43	43	2	0
新津中央	3	71.12	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	5	62.50	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	80.35	352	369	21	17
三条	3	85.17	54	55	0	1
燕	4	69.12	25	30	1	5
加茂	4	74.99	31	31	5	0
三条南	3	93.97	44	51	1	7
分水	4	79.13	29	31	2	2
見附	5	72.00	18	20	1	2
吉田	5	80.30	33	33	1	0
三条北	3	87.62	71	70	5	-1
巻	4	86.10	11	10	0	-1
田上あじさい	6	66.60	6	6	1	0
三条東	4	88.81	30	32	4	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	89.88	300	306	30	6
長岡	4	88.48	37	43	2	6
柏崎	3	87.23	47	47	0	0
長岡東	3	86.70	63	64	7	1
柏崎東	3	100.00	44	45	5	1
栃尾	3	92.19	25	22	0	-3
長岡西	4	83.53	44	46	5	2
柏崎中央	3	91.06	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)	／	86.90	148	153	6	5
十日町	4	97.72	32	33	0	1
小千谷	4	86.07	38	41	3	3
雪国魚沼	4	76.40	21	21	1	0
十日町北	4	97.83	22	23	1	1
津南	3	83.32	24	24	1	0
越後魚沼	3	80.03	11	11	0	0
第7分区(9クラブ)	／	80.10	302	308	26	6
高田	5	94.17	58	58	0	0
直江津	3	82.15	37	43	2	6
新井	3	72.22	29	30	3	1
糸魚川	4	83.40	36	38	2	2
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	3	76.66	38	40	3	2
糸魚川中央	4	73.44	33	33	0	0
頸北	4	80.40	15	15	1	0
越後春日山	4	78.39	52	51	15	-1

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	1,990	人
5月末 会員数	2,063	人
女性会員数	146	人
純増減会員数	73	人
当月平均出席率	83.63	%

文 庫 通 信 (322号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

- ◎ 「日本のロータリアンに期待する」 ロンD.バートン 2014 5p
(第42回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「RI会長を終えて」 田中作次 2014 8p
(第42回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「北米におけるロータリー研究会」 G.Kenneth Morgan 2014 3p
(第42回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「世界のロータリー」 田中作次 [2014] 4p (D.2770地区大会の記録)
- ◎ 「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本ーRIの最近の動きとクラブの対応」
富田英壽 2014 38p (魅力あるロータリーに)
- ◎ 「RLIとは」 南園義一 2012 6p (RLI研修セミナーテキスト)
- ◎ 「新戦略計画の理解と実践を」 南園義一 2014 2p (D.2780月信)
- ◎ 「2013年版手続要覧『主な改定内容と解説』」 小船井修一 2014 3p
(D.2500月信)
- ◎ 「『職業奉仕フォーラム』実施の報告」 福田武男 2014 2p
(D.2510月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日